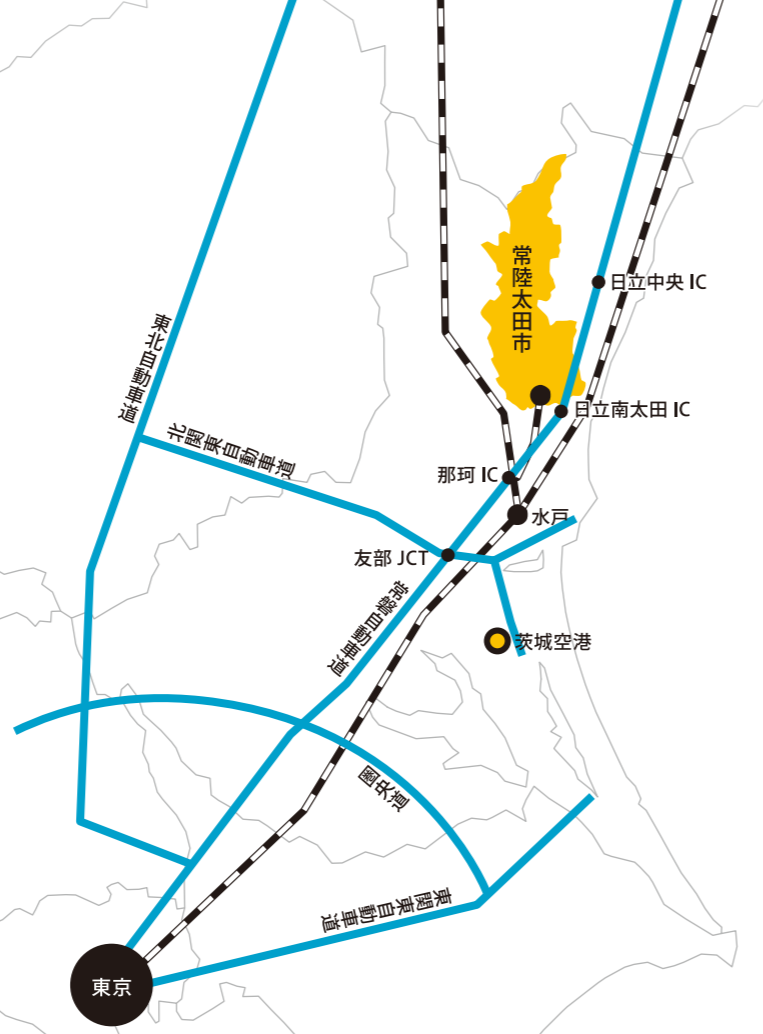


あなたが 常陸太田市に 必要です。

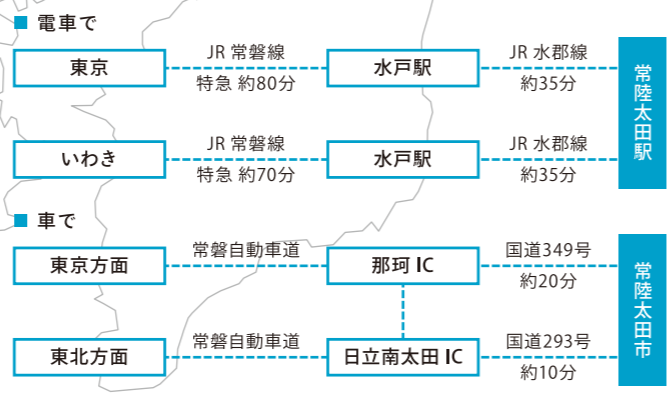
常陸太田市は、茨城県北部に位置し、東は高萩市、日立市に、西は大子町、常陸大宮市に、南は那珂市に、北は福島県矢祭町、塙町にそれぞれ接しています。

市の総面積は371.99km²、南北約40km、東西約15kmの広がりを持ち、茨城県内で1番広大な市です。久慈川の支流である里川、山田川、浅川が流れ、この河川沿いに平野がひろげ、水田地帯では標高10mですが、北部は、阿武隈山系の山岳地帯で標高750mを超え、たおやかに豊かな稜線を望むことができます。

気候は四季を通じて穏やかですが、冬季に積雪を見ることもあります。



【常陸太田市へのアクセス】



【常陸太田市のデータ】

	人口(令和7.4.1)	世帯数(令和7.4.1)
	44,248人	18,812世帯
教育施設(令和7.4.1)		
	幼稚園2, 小学校8, 中学校7, 高等学校2	
主な福祉施設(令和7.4.1)		
	保育園・こども園11(公立6, 私立5), 総合福祉会館1	
医療施設(令和7.4.1)		
	病院3, 一般診療所15, 歯科診療所20	
令和7年度	一般会計当初予算額 29,455,000千円 (市民1人当り665,680円)	市税収入当初予算額 5,682,541千円 (市民1人当り128,425円)

常陸太田市の概要

多くの遺跡や古墳群に見られるように、縄文・弥生の時代からこの地域の中心地として栄え、平安時代の末よりは、奥七郡など東北地方一帯を支配した常陸の豪族佐竹氏の本拠地として約460年間繁栄してきました。江戸時代に入ると、徳川光圀公が晩年を過ごした西山荘や水戸徳川家歴代藩主の墓所である瑞龍山、11代藩主昭武公の山荘天竜院などに代表されるように水戸藩領地として発展し、明治時代には郡役所の設置や棚倉街道の商業中心都市として繁栄をしてきました。また、平安時代より72年毎に行われ、平成15年には第17回目が行われた西金砂神社と東金砂神社の大祭礼など、歴史と文化にあふれるまちです。

常陸太田ってこんなところ

市域南端を流れる久慈川の支流である、里川、山田川、浅川が南北を貫流し、その流域沿いには多くの集落が形成され、上質なコシヒカリの産地としての水田地帯が広がっており、地域産業の中核を担うとともに、ぶどうや梨などの特産物の生産地でもあります。また、山間部である北部を中心に、林業、畜産業や常陸秋そばなどが地場産業として栄えています。



鯨ヶ丘地区
今もなお「蔵造り」の町屋をはじめ、多くの歴史的建造物が残されています。



竜神バンジー
高さ100mの竜神大吊橋からのバンジージャンプは迫力とスリル満点

つけけんちんそば
温かいけんちん汁にそばをつけて食べる、常陸太田のソウルフード



じょうづるはうす
子どもたちの遊び場や子育て仲間の交流の場



常陸秋そば
「玄そばの最高峰」として高評価を得ている、常陸太田発祥の良質なブランドそば



竜神峡アウトドアフィールド
カヌー・ボート・SUPなど、ゆったり自然を満喫するアクティビティーが充実

結構楽しすぎ。



常陸太田市公式
マスコットキャラクター
「じょうづるさん」